



新年あけましておめでとうございます。

入居企業の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はSICの運営にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、社会・経済環境が大きく変化する中においても、皆様がそれぞれの分野で挑戦を続け、新たな価値創出に取り組まれている姿に、私どもも大いに刺激を受けてまいりました。

皆様にとって、令和7年(2025年)はどのような年であったでしょうか?十二支で「巳(み・へび)」年で、十干十二支では「乙巳(きのとみ)」にあたります。蛇の「脱皮」になぞらえ、「再生と変化」、そして「新たな成長や発展」を象徴し、努力が実を結び、新しい挑戦や目標達成に適した、幸運に満ちた一年になると言われています。振り返りますと、国内外で多くの出来事があり次第に繋がる社会情勢の大きな変化点であったかと思われます。

今年の干支は「午(うま)」年で、60年に一度巡ってくる年「丙午(ひの

えうま)」です。丙午の年は、「前進」「成功」「活気」を象徴し、力強く前向きな一年になるとされています。

SICは、皆様の会社が「成功」に向けてさらに「前進」していくとともに、SICが「活気」に満ち溢れることを目指して、スタッフ一同で活動を進めてまいります。入居企業の皆様の事業成長や新たな連携の創出を支援すべく、交流機会の充実や支援施策の強化に取り組んでまいります。相模原から新たな産業とイノベーションが生まれていくよう、未来を創る“ビジネスインキュベータ”として、令和8年も引き続き皆様と共に歩んでいければ幸いです。

結びに、皆様のご健勝と貴社の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和八年一月

株式会社さがみはら産業創造センター

代表取締役 **山崎 利宏**



入居企業トピックス

1月の新聞掲載記事紹介(12月24日時点)

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲示していますので、ご覧ください。

1月21日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
「知らなかつては済まされない!~中小企業経営者が今から備えるべき「中小受託取引適正化法4」~

knock/knock! SIC空室情報 (令和8年1月5日 現在) ※お気軽に稻垣・大谷までお問合せください

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○スマートオフィスA(23.6m ²) 2	97,680円
	○スマートオフィスB(17.3m ²) 4	79,640円
	○スマートドライラボ(17.3m ²) 2	79,640円
SIC-2 Creation Lab.	○オフィス(50.2m ²) 1	214,610円

※2月以降入居可 最新の情報はHPをご確認ください。

「動植物」をテーマにひとこと

実家で飼っていた三毛猫はとにかく気性が激しくて、噛みつき引っ掻き、私達の生傷は絶えませんでした。そのくせ寒い日は布団にのりと入ってきて憎めない。犬猫は何匹も飼いましたが、今でもなぜかあの猫との日々が一番思い出されます。(金澤知恵)



17歳になるマルチーズとチワワのミックス犬のマリーは、機嫌が悪いと飼い主も嘔もうとしますが、お散歩に行く時だけ外面良好お上品です。犬がすべてどの犬種もいつも従順なわけではない、という点は、人も多様性があり、本質は不变であることを共通して学びました。(須藤)



今はエビ、ハヤ、タナゴ、ザリガニ、すっぽんと川の生き物&イモリなど水槽がたくさんですが、ほかにも今は実家にいる犬たちやウサギも一緒に過ごしてきました。彼らから学んだことは、どんな小さな子でもお互いの気持ちを通わせることが出来ることです♪(荒巻)



小さい頃にうさぎを飼っていました。はじめは触らせてくれなかつた子が、お世話をしていくなかで最終的には膝の上で寝てくれるようになり、誠心誠意接すれば、相手も応えてくれるのだと子どもながらに感じたことを今でも覚えています。(寺岡)



30年以上前に実家で生活していたころ、突然犬を飼うことになりましたが、当時の私は犬が苦手で嫌悪感しかありませんでした。すると、犬もそれを察して私にむやみやたらに近寄ってこようとせず、洞察力の鋭さに驚きました。(五島)



高校時代の夏休み、北海道にある競走馬の生産牧場で住み込みバイトをしたことがあります。炎天下、汗だくで刈った青草を馬たちが我先にと頬張る姿に喜びを感じました。その記憶が今の職業観を形作った気がします。(樽川)



食べた後のパイナップルの冠を育てています。実がなるかは未知数ですが、可能性を信じる毎日は希望に満ちています。創業も同じ。夢が実を結ぶと信じ、事業に水をやり続ける。その道のりと共に歩んでいきたいです。(奥村)



最近、ショート動画でペットが幼い子供を危険から守る姿を見ることがあります。瞬時に体が反応する自己犠牲の行動、自分自身に備わっているのか…。今年も引き続き、ちゃんと大人を目指します!(片山)



近夏開幕したオナガとの熱い争奪戦! 昨年庭に植えたイチジクが急成長し、気付けば100個程の実を付けるも、野生のオナガの群れに見つけられたら最後…完敗しました。彼らに見習い、より一層一致団結して粘り強く仕事に取り組んで参ります!(清水)



癒しを求める「町田リス園」でエサやり体験をしたとき、リスたちが手のひらに群がりました。リスが必死になって体をよじ登る際の鋭い爪や目つきに恐怖を感じ、外見に捉われず、本性を知るべく悟りました。(佐藤)



実家にいる頃は犬・金魚・インコ・スナネズミなど色々なペットに、ここ十数年は野球場で燕のマスコットに癒されています。入居者の皆様に癒しを与えるよう精進してまいります。本年もよろしくお願ひいたします。(中村)



Instagramで、語り掛けに一生懸命耳を傾けている高知県立のいち動物公園で暮らすチンパンジー「ミルキー」の姿がありました。「人の話をちゃんと聞く。」簡単なようで難しい。大切な姿勢ですね。(中野)



小学生の頃、妹が学校からウサギを連れて帰ってきたことや、給食で食べたびわの種を植えて大木に育て、実を収穫したことを思い出します。そんな私ですが、今一番共感するのは…寝る食べるこれが大好きなカビゴンです!(大谷)



小学1年生の頃、真っ白な手乗り文鳥の番を親に買ってもらいました。ある晩、麦わらの巣の中に小さな卵を見つけ大喜び。ある朝、その卵が巣から落ちて大泣き。幼いながら、命の尊さを学んだ瞬間だったように思います。(橋元)



10歳の頃、鯉の稚魚30匹を飼いました。色とりどりでとてもきれいでました。その後、ナマズを水槽に入れました。艶やかな美しい水槽に喜びました。ある日から水槽の色がどんどん薄くなりました。そうです、ナマズが鯉を食べていたのです。弱肉強食と食物連鎖を少年は学びました。(稻垣)



高校2年の時に泥棒が入り、母が子犬のコロンボを迎えた。成犬になると見知らぬ人に吠える立派な番犬に成長。冬の日、隣の学生が獣医師試験前にコロンボをなで、「触ると合格するジンクスがある」と言った。自力で頑張るが、何かにすがりたい気持ち、分かります。(安藤)



以前、南米フグを飼っていました。とても人に慣れる魚で、餌を箸で直接食べさせたり、いつもこっちに来たそうに泳いでいて、可愛くて癒されました。今はラッコや猫など、動物系の動画をあれこれ見て和んでいます。(岳田)



3年前にふるさと納税の返礼品として受け取った「(小さな)多肉植物」が今では立派な株に成長しました。今年はビカクシダ(コウモリラン)にチャレンジします!(金澤)



年に数回の山行。山の木々からエネルギーを充填してもらい、癒してもらい、楽しく生活しています。今年はどこかの山にロングステイし、じっくり、たっぷりと活力をフル充電し、今年も楽しんでいきたいと思います。(上野)



編集後記

今回は「動植物」をテーマに、発売から30年となるポケモンにちなみ、ドット絵風に加工した画像を掲載します。同じ種でもそれぞれ個性があるように、生成した画像は同じプロンプトでも多様なタッチとなりました。SICは皆様の個性に寄り添った支援ができるよう、日々精進いたします。本年もよろしくお願ひいたします。(佐藤)